

学問分野の壁を越え、福島原発事故の教訓を科学に！

Wolfgang Weiss 博士講演会

原子放射線の影響に関する国連科学委員会
(UNSCEAR)元議長
Multidisciplinary European Low Dose Initiative
(MELODI)名誉会員



Dr. Wolfgang Weiss

欧米での低線量放射線影響の 国家プロジェクト動向について

日時 2015年5月28日(木) 15:00~16:30

場所 京都大学・益川ホール(北部総合教育研究棟)



参加費 無料

申し込み方法 下記URLよりご応募ください。

http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~yipqs.project/entry_details.php?id=292



モデレーター：樋口敏広
京都大学白眉センター助教

欧米では今、低線量放射線のリスクを研究する国家プロジェクトが盛んになっている。欧州ではMultidisciplinary European Low Dose Initiative (通称MELODI)が、米国ではエネルギー省や米国科学アカデミーが中心となって分野横断的・学際的な研究が進められている。本特別セッションでは、UNSCEAR(原子放射線の影響に関する国連科学委員会)元議長のWolfgang Weiss氏を招き、最新の国際動向および日本における同様の国家プロジェクトを立ち上げる必要性について議論する。



主催：日本学術振興会研究開発専門委員会・先導的研究開発委員会「放射線の影響とクライシスコミュニケーション」、
日本物理学会大阪支部、日本物理学会京都支部、NPO法人知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん

後援：京都大学基礎物理学研究所

問い合わせ先：大阪大学大学院工学研究科 真鍋勇一郎 E-mail: manabe_y@see.eng.osaka-u.ac.jp